

病原体別対策：

# 疥 癬

## 1. 疥癬とは

疥癬とは皮膚の角質層に寄生するヒゼンダニ（疥癬虫 *Sarcoptes scabiei var. hominis*）の感染によって発症する。寄生虫や、その排泄物などに対するアレルギー反応による皮膚病変と掻痒感を主症状とする感染症である。

臨床症状やヒゼンダニの寄生数によって一般的にみられる「通常疥癬」と、「角化型疥癬」の二つに大別される。角化型疥癬は重篤な基礎疾患を有する、または、ステロイドや免疫抑制剤の投与などにより免疫機能が低下している全身衰弱者に発症し易い。感染力が非常に強いため、集団感染の原因となり得る。



## 2. ヒゼンダニ(疥癬虫)の生態

ヒゼンダニは非常に小さく、肉眼で確認することはできない。卵は3～5日で孵化し、その生活環は10～14日間である。成虫は人の皮膚表面を歩き回っていたり、皮膚角質層内に穴を掘って潜んでいたりするため、居場所を特定することは難しい。

人の手首や手のひら、指の間、肘、わきの下、足首や足の裏、外陰部などの角質層に疥癬トンネルと呼ばれるトンネルを掘り進めながら、寿命が尽きるまで4～6週間にわたって1日2～4個ずつ産卵しながら移動する。

## 3. ヒゼンダニの感染力・感染経路・潜伏期間

ヒゼンダニは乾燥に弱く、また人の体温より低い温度では動きが鈍くなり、16℃以下では動かなくなる。このため皮膚から離れると、数時間で感染力が低下する。また、高温に弱く50℃、10分間でヒゼンダニは死滅する。

肌と肌の直接接触が主な感染経路であるが、タオルや寝具、衣服の共有によっても感染することがある。

ヒゼンダニに感染後、約1～2ヶ月間の潜伏期間（無症状期間）を経て、皮疹などの臨床症状が現れる。角化型疥癬ではヒゼンダニの数が多いため潜伏期間が4～5日間と短縮する場合もある。

## 4. 通常疥癬と角化型疥癬の違い

### 1) 通常疥癬

- (1) 通常疥癬は、長時間の皮膚と皮膚との直接接触によって感染する。稀に寝具やタオル類を介する間接触感染もあるが、集団感染の危険性は少ない。
- (2) 強い掻痒感を伴い、皮膚症状は丘疹、結節、疥癬トンネルがある。

### 2) 角化型疥癬

- (1) 感染経路は通常疥癬と同様だが、重篤な基礎疾患がある、または免疫機能が低下している患者にヒゼンダニが感染することで角化型疥癬を発症する。ステロイド外用剤の使用により、通常疥癬から角化型疥癬へ移行することもある。
- (2) 皮疹は灰色から黄白色で、ざらざらと厚い角質増殖が、手・足、臀部、肘頭部、膝蓋部などの摩擦を受けやすい部位の他、通常疥癬では感染しない頭部、頸部、耳介部を含む全身に認められる(写真)。掻痒については一定せず、全く掻痒感がない場合もある。

【表 1: 通常疥癬と角化型疥癬の違い】

	通常疥癬	角化型疥癬
寄生数	1000匹以下	100万～200万匹
宿主の免疫	正常	低下している
感染力	弱い	強い
主な症状	丘疹、結節	角質増殖
掻痒感	強い	不定
感染部位	頭部以外の全身	全身



写真.角化型疥癬の皮膚所見

## 5. 疥癬の感染防止対策

### 1) 外来

#### (1) 通常疥癬

- ① 標準予防策を行う。清掃も通常の方法で良い。

#### (2) 角化型疥癬

標準予防策に接触予防策を加え、以下の対策を実施する。

##### ① 診察時の感染対策

- ・ 診察順をできるだけ最後にするか診察室を特定する。
- ・ 職員は袖付ガウン、手袋、マスクを着用し、診察が終了した時点ですみやかにこれらの防護具をすべて脱衣する。石鹼と流水で手洗いを行う。

##### ② 診察後の感染対策

- ・ 診察終了後にベッドシートや職員の白衣を替え、患者の行動範囲にある落屑などを真空式掃除機で清掃し、ピレスロイド系殺虫剤を噴霧する。
- ・ 使用後のカーテンは交換する。使用後のカーテンは大きな袋に入れ、袋の中にピレスロイド系殺虫剤を約 5 秒間噴霧した後密封し、24 時間経過後にリネン室へ降ろす。

## 2) 病棟

### (1) 通常疥癬

標準予防対策を行う。ただし身体介助やリハビリテーションなどで長時間の皮膚と皮膚との接触が予想される場合には、袖付ガウン、手袋、マスクを着用する。

### (2) 角化型疥癬

個室管理とし、標準予防策に加えて厳重な接触予防策を行う。感染性が減じた時点で個室管理や接触予防策を解除する。解除時期は皮膚科医の判断によって決定する。

【表 2: 疥癬の感染防止対策】

	通常疥癬	角化型疥癬
感染防止対策	標準予防策(一部特殊対策)	標準予防策+接触予防策+特殊対策
個室管理	不要  (ただし患者の状態や症状によっては個室管理が望ましい場合もあり、皮膚科医や感染管理推進室とよく相談の上、病床配置を決定する)	原則トイレのある個室管理とする。適切な治療を行えば長期にわたって隔離を行う必要はない  隔離期間は通常 1~2 週間を目安とする* <sup>1</sup>  治療経過と皮膚科医による判定が必要  面会は必要最小限とし、小児は面会禁止とする
診察とケア	標準予防策で対応  接触後は流水と石鹸での手洗いを行う  長時間の肌と肌との直接接触は避ける  長時間の接触(入浴介助、リハビリテーションなど)が予想される場合は、袖付ガウン、手袋、マスクを着用する	診察またはケアする際には袖付ガウン、手袋、マスクを着用し、患者と接触する肌の露出を最小限にする  接触後は手袋を外し流水と石鹸での手洗い*を励行する。  *ヒゼンダニに対して擦式アルコール手指消毒剤の効果は不明である
リネン類の管理	リネン類はすべて患者病室内に蓋付き容器内に大きなビニール袋を被せ、その中に入れる。ある程度貯まった時点で袋を取り出し、汚物室等でピレスロイド系殺虫剤をリネンの入った袋の中に噴霧する(5 秒程度)。袋を密封し、24 時間経過した後にリネン室へ降ろす。リネンが入った袋には、「疥癬」と「殺虫剤を噴霧した日時」をマジックで記載する  殺虫剤がない場合、50℃以上のお湯に 10 分以上浸漬することでヒゼンダニは死滅する	外用剤処置中は毎日シーツを交換する。毎日のシーツ交換は隔離解除までの期間とする  リネン類はすべて患者病室内に蓋付き容器内に大きなビニール袋を被せ、その中に入れる。ある程度貯まった時点で袋を取り出し、汚物室等でピレスロイド系殺虫剤をリネンの入った袋の中に噴霧する(5 秒程度)。袋を密封し、24 時間経過した後にリネン室へ降ろす。リネンが入った袋には、「疥癬」と「殺虫剤を噴霧した日時」をマジックで記載する  殺虫剤がない場合、50℃以上のお湯に 10 分以上浸漬することでヒゼンダニは死滅する

<p>病室清掃 環境整備</p>	<p>特別な対応は不要</p>	<p>ベッド周辺など皮膚の落屑が落ちている可能性がある場所は、清掃担当職員に依頼し、丁寧に真空式掃除機で吸引する</p> <p>血圧計や聴診器、車椅子、ストレッチャーなどは患者専用とする。どうしても他の患者に使用しなければならない場合にはピレスロイド系殺虫剤を噴霧し、丁寧に清拭した後に使用する</p> <p>ベッドマットは粘着テープや真空式掃除機で表面を丁寧に掃除する</p>
<p>入浴</p>	<p>清掃方法に関して特別な対応は不要</p> <p>入浴介助で患者の肌に長時間直接接触することは避ける。必要時、袖付ガウン、手袋、マスクを着用して介助する</p> <p>タオル、バスタオルなど直接肌に触れるものは患者専用にする。足拭きマットの共有は避け、使用毎に交換する</p>	<p>入浴やストレッチャー浴の順番は最後とする</p> <p>使用後、浴室や洗い場を熱湯で十分に洗い流す</p> <p>脱衣所は落屑が落ちている可能性があるため、ピレスロイド系殺虫剤を噴霧する</p> <p>タオルやバスタオル、足拭きマットなどの<u>共用は絶対に避ける</u></p> <p>入浴介助が必要な場合は袖付ガウン、手袋、マスクを着用し、介助後は十分に手洗いを行う</p>

### 3) 接触者への対応

集団発生した場合に備え、予め多床室で同室であった等の接触した可能性のある患者と、接触予防策を取らずに疥癬患者に接触した職員のリストを作成する(書式 2)。  
疥癬患者に接触した患者・職員は、接触から 1~2ヶ月間、皮膚症状の観察を行う。  
症状が出現し、疥癬に感染したことが疑われる場合には、早期に皮膚科を受診する。

### 4) 家庭における対応

#### (1) 通常疥癬

家族等でタオル類の共有は避ける。その他は日常生活において特別な対策は必要なく、皮膚科医の指示に従って治療を行う。

#### (2) 角化型疥癬

以下の感染対策を患者・家族に説明し、家族内での感染を防止する(表 2)。

【表 3:家庭における角化型疥癬の感染対策】

衣類 シーツ	衣類、シーツは毎日交換する。50℃以上のお湯に10分以上浸した後に洗濯する。乾燥機やアイロンで熱処理することも有効である
寝具	マットなどは掃除機で表面を丁寧に掃除する
入浴	毎日入浴する
掃除	居室は掃除機で丁寧に掃除する
殺虫	治療開始時に居室や共同使用していた部屋に殺虫剤を散布する。また、治療終了時にも念のため殺虫剤をもう一度散布する
隔離	寝室などは他の家族と同室にならないように工夫する

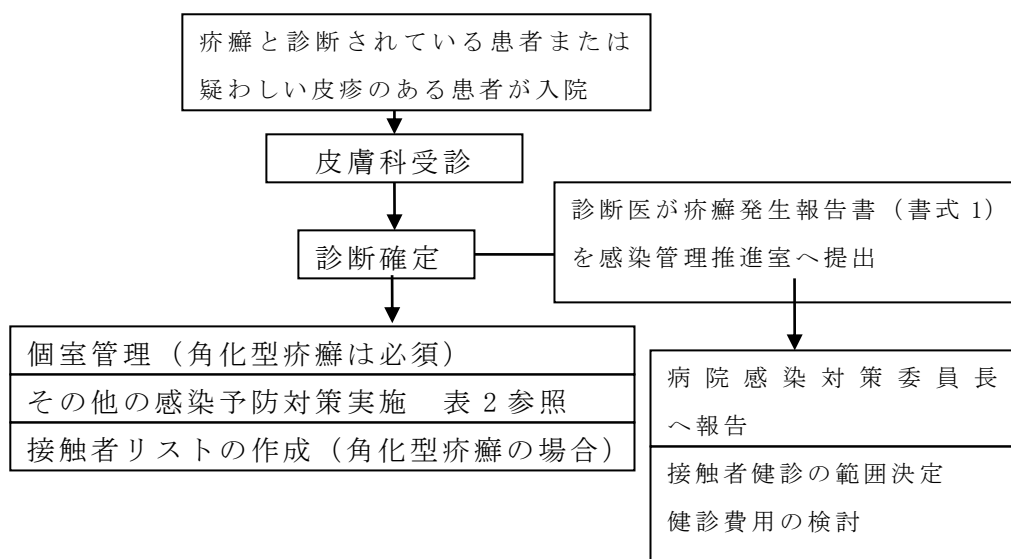
## 6. 職員の就業制限について

皮膚科を受診し、疥癬に対して適切な治療を行っていただければ就業制限は必要ない。ただしヒゼンダニがいなくなったことを皮膚科で確認（治癒）するまでは、患者に直接接する診療やケアの際に手袋やガウンなどの防護具を用いて肌と肌との直接接触は避ける。

## 7. 報告体制

診断した医師は疥癬発生報告書（書式 1）を作成し感染管理推進室に提出する。感染管理推進室は、病院感染対策委員長に報告する。

接触者検診、予防治療に要する費用は、病院感染対策委員長の承認が得られた場合、病院負担とする。



【図 1：疥癬発生時の報告体制】

(書式1)

年 月 日

## 疥癬患者発生報告書

病院感染対策委員会委員長 様

・発生箇所： \_\_\_\_\_ 科 名 ( \_\_\_\_\_ )

・患者名： \_\_\_\_\_ 様

[性別： 男・女 年 齡 \_\_\_\_\_ 歳]

・基礎疾患（入院疾患名）： \_\_\_\_\_

・主治医氏名： \_\_\_\_\_

・報告書記載者名： \_\_\_\_\_

・入院年月日 : \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

・発症年月日 : \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

・患者の状況（疥癬を疑った背景、経過をなるべく詳しく）

---



---



---



---

・接触者皮膚科受診 無 有 同室者 ( ) 名 職員 ( ) 名

・治療必要者 同室者 ( ) 名 職員 ( ) 名

病院感染対策委員長

印 確認日

年 月 日

(書式 2)

【疥癬接触者リスト】

部署:				
	フリカナ 氏名	職種	接触した月日	防護具着用の有無
1				<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> 手袋 <input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> エプロン <input type="checkbox"/> ガウン
2				<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> 手袋 <input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> エプロン <input type="checkbox"/> ガウン
2				<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> 手袋 <input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> エプロン <input type="checkbox"/> ガウン
3				<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> 手袋 <input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> エプロン <input type="checkbox"/> ガウン
4				<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> 手袋 <input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> エプロン <input type="checkbox"/> ガウン
5				<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> 手袋 <input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> エプロン <input type="checkbox"/> ガウン
6				<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> 手袋 <input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> エプロン <input type="checkbox"/> ガウン
7				<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> 手袋 <input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> エプロン <input type="checkbox"/> ガウン
8				<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> 手袋 <input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> エプロン <input type="checkbox"/> ガウン
9				<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> 手袋 <input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> エプロン <input type="checkbox"/> ガウン
10				<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> 手袋 <input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> エプロン <input type="checkbox"/> ガウン
11				<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> 手袋 <input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> エプロン <input type="checkbox"/> ガウン
12				<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> 手袋 <input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> エプロン <input type="checkbox"/> ガウン